

MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

MCN REPORT

今春卒業生の看護師・助産師
国家試験合格率は**100%** でした

Vol. 35
2018.5



卒業式・修了式(3月17日)(5頁)



入学式(4月3日)(5頁)

主な内容

- 今春卒業生の進路・資格取得状況 1
- 連携協力協定病院紹介（松阪市民病院） 3
- 教員インタビュー（社会学 浦野茂教授） 4
- 「みかん大進学支援給付金」を創設しました 6



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



大学マスコット
キャラクター
「みかんちゃん」

今春卒業生の進路・資格取得状況

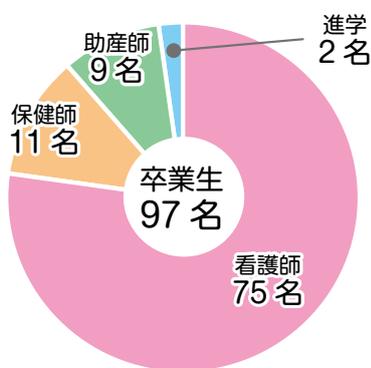
進路・資格取得状況についてお知らせします

今春卒業生の進路、国家試験の結果がまとまりましたので、お知らせします。また、本学の学生支援体制や、今後の支援における方向性などについて、大平肇子学生部長に聞きました。

1 卒業生の進路 ～県内に56名（58.9%）の卒業生が就職～

卒業生 97 名のうち、就職者は 95 名、進学者は 2 名でした。なお、就職率は 100% でした。就職者のうち、県内への就職率は 58.9%（56 名）と、昨年度（42.3%（44 名））より上昇しました。

卒業生 97 名の内訳



県内就職 56 名 県外就職 39 名

県内就職率 **58.9%**

県内就職先

- 日本赤十字社伊勢赤十字病院
- 国立病院機構三重病院
- 国立大学法人
三重大学医学部附属病院
- 三重県
地方独立行政法人
桑名市総合医療センター
- 地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
- 伊賀市立上野総合市民病院
- 社会福祉法人恩賜財団
済生会松阪総合病院
- 亀山市立医療センター
- 市立四日市病院
- 医療法人普照会もりえい病院
- 社会医療法人峰和会鈴鹿回生病院
- 朝日町
- JA 三重厚生連
- 明和町
- 市立伊勢総合病院
- 大紀町
- 松阪市

主な県外就職先

- 愛知県厚生農業協同組合連合会
安城更生病院
- 一宮市立市民病院
- 愛知県
日本赤十字社名古屋第一赤十字病院
- 日本赤十字社名古屋第二赤十字病院
- 名古屋西立西部医療センター
- 大阪大学医学部附属病院

本学では、就職説明会、就職講座など様々なサポートを行っています。

なお、三重県の保健・医療への貢献をめざす本学は、今後も県内医療機関や行政機関の皆さま等と連携しながら学生の就職を支援していきますので、皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

2 資格取得状況 ～本学の看護師・助産師国家試験合格率は100%～

平成 29 年度国家試験は、看護師 2 月 18 日（日）、保健師 2 月 16 日（金）、助産師 2 月 15 日（木）に行われ、3 月 26 日（月）に合格発表されました。

看護師・助産師国家試験は、ともに合格率 100% を達成しました。保健師国家試験についても合格率 91.8%（全国平均 85.6%：新卒）と高い合格率となりました。

	看護師	保健師	助産師
受験者数	97 名	97 名	9 名
合格者数	97 名	89 名	9 名
合格率	100.0%	91.8%	100.0%
全国合格率（新卒）	96.3%	85.6%	99.4%
全国合格率（全体）	91.0%	81.4%	98.7%

本学では全員合格をめざして様々な学習のサポートを行っています。

今年度は、3 年時の低学年模試、4 年時の看護師模擬試験 4 回、保健師模擬試験 2 回、助産師模擬試験 2 回、また、外部業者による補講も計画しています。さらに後期には本学教員による国家試験対策中心の授業を開講予定です。

学生による自主的な取組である「国家試験対策委員」も活躍しています。今年度も学生・教員が一丸となって全員合格の達成をめざします。今後とも皆さまの応援をよろしくお願いいたします。

「学生へのフォロー体制の充実や、 県内医療機関などとの連携が特徴」

Q：本学の就職や資格取得の面で、学生への支援における本学の特徴は何ですか？

A：本学は小規模な大学です。だからこそ、学生へのきめ細かな支援が可能です。学生個々に対応することができる「チューター制度」の活用、臨床現場で活躍する卒業生からお話いただく「ようこそ先輩」の開催、多くの県内医療機関の方々に参加いただく就職説明会の開催など、フォロー体制の充実が挙げられます。とりわけ資格取得には、学生が国家試験対策委員を自主的に選出して相互に学習する環境があり、それを教員が支援する、という全学一丸の体制で挑んでいます。



大平学生部長

Q：保健師の就職が平成 29 年は 11 人と非常に多い要因は何ですか？

A：地域在宅看護学の先生方が中心となり、公務員試験に向けたガイダンスや面接・小論文対策、先輩保健師との交流茶話会などの支援を行ったことだと思います。

Q：今年度は高い県内就職率となりました。この要因は何ですか？

A：県内高等学校からの入学者が多かったことに加え、県内の連携協力協定病院で実習させていただいていることで、県内で安心して、また、憧れを抱いて就職できる環境があることも主な要因です。

Q：今後の抱負や展望をお聞かせください。

A：本学は地域医療に貢献できる学生を輩出するため、質の高い教育をめざしています。国家試験合格率は、今後も 100%となるよう学習環境を整えます。就職においても、県内医療機関や行政機関との連携を深め、大学と社会とのつながり、つまり大社接続を進めます。



合格に向けて掲示板を設置

大平肇子学生部長：理事（教学研究担当）を兼務。教授（母性看護学）

平成31年度大学院入試について

～平成 31 年度からのカリキュラム改正により、多くの学びを支えます～

- ◆ 修士論文コースと専門看護師（CNS）コースに加え、臨地教育者コースを新設します。
- ◆ 教育研究分野は、多様な看護学の研究課題に対応できるように「人文社会看護学」「自然科学看護学」を設置し、13分野に拡充します。
- ◆ 専門看護師（CNS）コースの課程内容は 38 単位制に充実します（申請予定）。

＜試験日＞ 出願期間など、詳しくは本学ホームページをご覧ください。

	一次募集	二次募集
一般入試	平成 30 年 9 月 3 日（月）	平成 30 年 12 月 1 日（土）
機関長推薦入試（※）	平成 30 年 7 月 11 日（水）	平成 30 年 12 月 1 日（土）
学内推薦入試	平成 30 年 7 月 11 日（水）	平成 30 年 12 月 1 日（土）

（※）機関長推薦入試…本学と「連携協力に関する協定」を締結した病院の長から推薦が得られる者が対象となります。

連携協力協定病院紹介

連携協力協定病院（松阪市民病院）

平成26年3月に、本学との協定を締結した松阪市民病院から、病院について、そして就職説明会の開催についてお教えいただきました。

「あなたのやりたい看護はここにある」

松阪市民病院は、三重県中部に位置する急性期医療を中心とした、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟を含む328床の自治体病院です。

手術や化学療法など急性期医療を担う病棟、在宅復帰をめざし退院支援に重点を置く地域包括ケア病棟。がん終末期看護においては「静かに自身をみつめる場」と病棟理念に掲げ、患者の身体的苦痛や患者・家族が抱える精神的な苦しみ・苦悩に対して共に悩み考える姿勢の緩和ケア病棟。在宅で看取することもできる訪問看護ステーションと、急性期から回復期・終末期、在宅看護など、切れ目のないさまざまな看護が提供できる病院です。当院の看護部にはあなたの目指す看護があります。そしてあなたの活躍の場がきっとあります。

看護部は「あなたのやりたい看護はここにある」というテーマのもと、学生の方に当院を知っていただきたいという思いから、就職説明会を毎年5月にフレックスホテルで開催しています。自分らしさを活かしながら成長できる病院に、興味のある学生の方は、夏休み中にも就職説明会を企画しますので、ぜひ参加してください。

これからも地域の方々に密着した選ばれる病院をめざし、三重県立看護大学との連携を深めていきたいと思っております。

（看護部長 眞砂 由利）



松阪市民病院



地域の方々に密着した選ばれる病院をめざします

病院情報

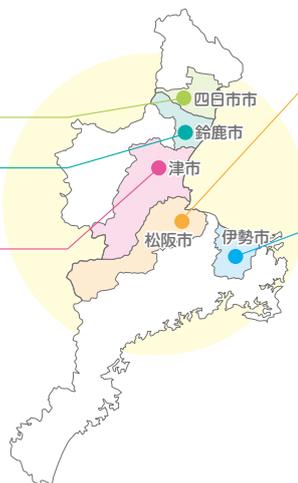
松阪市民病院 [昭和21年9月開設]

- ❖ 病床数：一般病床267床、地域包括ケア病床39床、緩和ケア病床20床、感染症2類2床 合計：328床
- ❖ 診療科目：内科、精神科、神経内科、循環器内科、リウマチ科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、病理診断科（23科）
- ❖ 職員数：694人（うち看護師319人）（平成30年4月1日現在）

連携協力協定病院一覧

県内10病院

- 地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
- 三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院
- 三重県立こころの医療センター
- 独立行政法人国立病院機構 三重病院
- 三重県立一志病院



- 松阪市民病院
- 社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院
- 日本赤十字社 伊勢赤十字病院
- 市立伊勢総合病院 **新**



平成30年3月締結

（平成30年5月末日現在）

教員インタビュー

うらの しげる

浦野 茂 教授 インタビュー

平成 22 年 4 月から本学で社会学を担当している浦野茂教授に、先生の専門領域や学生へのアドバイスを聞きました。

「一歩引いて、その外側の視点から捉えること」を大切にしながら

Q1 「社会学」って一言でいうとどのような学問ですか

人間の関係を、なにか一つの制度や規則という視点で捉えていくのではなく、一歩引いて、その外側の視点から捉えることで、問題解決の手立てなどを考えていく学問です。人間の関係であれば何でも対象になりうるので、社会学の対象領域は非常に広いです。



Q2 医療の道を志す学生さんに、社会学からどういったことを学び、卒業後もどのように活かして欲しいですか？

学生の皆さんは、卒業後、ケアの対象者としての「患者」に向き合うこととなります。患者の方々は、会社や地域、家族においてそれぞれ多様な立場を持っており、「患者」という 1 カテゴリーだけに収まりません。そういった立場の複数性や多様性に注意を向けながら、より良いケアを考えてほしいと思っています。

また、授業を受ける学生一人ひとりにも、それぞれの人生や考え方があります。授業の中での意見交換を通して、こうしたことについても学んでもらいたいと思います。

Q3 最後に、先生自身はどのようなことを研究テーマにされているのか教えてください。

発達障害をお持ちの方など、マイノリティと言われる方々の生活経験や実践を視野に入れながら、社会的な支援の制度を捉えなおしていくことを目指した研究をしています。その際に、「一歩引いて、その外側の視点から捉えること」を大切にしています。

浦野茂 教授 プロフィール

1999年 慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程
単位取得退学

2012年 博士（社会学）取得
本学准教授を経て、2013年8月より現職。

浦野茂 教授 担当科目

看護学部 「現代社会の社会学」「性差と人間社会」
「医療と文化」「多文化社会の課題」「障害学」
「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」
大学院看護学研究科 「看護研究方法論Ⅱ（質的研究）」



新任教員等紹介

新任



（後列左から、清水、安部、山本、小林、濱口、辻）
（前列左から、荻野、武笠、岡根、棚尾、大久保）

※昨年度から本学に在籍する教員は写真から除く

安部彰（准教授：看護倫理・倫理学） 清水律子（講師：老年看護学）
大久保宇啓（助教：精神看護学） 荻野妃那（助教：地域在宅看護学）
岡根利津（助手：基礎看護学） 小林奈津美（助手：成人看護学）
山本翔太（助手：地域在宅看護学） ※濱口幸美（助手）
※武笠元紀（助手） ※棚尾仁美（助手）
名倉真砂美（特任講師：成人看護学） 辻恵子（地域連携特任教授）
松田陽子（地域連携特任助教）
※は連携協力協定病院との人事交流

退職
転出

二村良子（准教授：母性看護学） 大村佳代子（講師：地域在宅看護学）
多次淳一郎（助教：地域在宅看護学） 中村真弓（助手：基礎看護学）
橋本千愛（助手：精神看護学） 柴原加奈（助手）
大津光之助（助手） 山野恵律子（助手）
阿部敬子（地域連携特任教授） 丹生かづ（地域連携特任准教授）

昇任

鈴木聡美（講師：基礎看護学）

大学の出来事

大学の出来事

平成29年度 看護学部卒業式・大学院修了式

3月17日(土)、平成29年度看護学部卒業生97名、大学院看護学研究科修了生4名の卒業式・修了式を行いました。卒業生代表の鈴木千加子さんと修了生代表の山中裕樹さんが、それぞれ謝辞を述べました。

卒業生・修了生の皆さんが、本学で学んだことを活かし、次のステージで大いに活躍されることを、教職員一同願っています。



3月17日(土)

平成30年度地域交流センター報告会

3月19日(月)、平成29年度地域交流センター活動報告会を開催しました。本学教員がそれぞれの専門性を活かして実施する地域貢献事業や県からの受託事業などについての発表のほか、受託事業の委託元である県の担当者から講評をいただきました。

今後も本学が県内唯一の公立大学として地域への貢献を果たすため、地域交流センターでは、様々な事業を行っていきます。



3月19日(月)

平成30年度 看護学部・大学院入学式

4月3日(火)、平成30年度本学看護学部新入生102名、大学院看護学研究科新入生9名の入学式を開催しました。新入生を代表し、川岸愛さんが入学の決意を宣誓しました。

新入生の充実した大学生活を、教職員一同でサポートしていきます。



4月3日(火)

認定看護師教育課程「認知症看護」の開講

5月11日(金)、平成30年度認定看護師^{*}教育課程「認知症看護」を開講し、研修生30名が入学しました。研修生は10か月間の講義、実習で、認知症分野における看護実践に必要な知識や技術を身につけ、平成31年の2月の修了をめざします。

^{*}認定看護師 日本看護協会が策定した資格で、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護が実践できる看護師



5月11日(金)

平成30年度 年度計画を策定しました

本学は、3月に平成30年度の年度計画を策定しました。第2期中期計画(平成27年度～平成32年度)の4年目にあたる今年度計画の冒頭に掲げる「基本的な考え方」は次の3点です。

- ① 質の高い教育・研究の実践
- ② 地域貢献、地域連携の推進
- ③ 適切で効率的かつ透明性の高い組織運営

今後これらを念頭に、年度計画、第2期中期計画に掲げた目標の達成をめざし、さらによりよい大学づくりを進めます。

「みかん大進学支援給付金」を創設しました

平成30年3月、本学は給付金制度「みかん大進学支援給付金」を創設しました。

この給付金制度は、三重県の保健・医療に貢献する意欲があり、本学への進学の目的及び意志が明確であるにもかかわらず、経済的理由により進学が困難な人に対して、入学時に要する実習教材代や教科書代等の一部を奨学金として支給することにより、本学への進学を後押しすることが目的です。対象者1人あたりの給付額は20万円（返済不要）です。

この給付金は、昨年度、開学20周年を契機に設置した基金（公立大学法人三重県立看護大学修学支援基金）を財源としています。

この基金への多くの皆さまからのご寄附に感謝申し上げますとともに、継続的に、三重の看護を支える意欲の高い学生を支援できるよう、今後も、皆さまのご支援をお願い申し上げます。



～ ありがとうございます ～

◆修学支援基金に寄附頂いた方々◆ (平成30年5月末日迄領収分)

個人

(公表をご了解いただいている方のみ掲載。寄附を頂いた順、敬称略)

川出富貴子	井倉 一政	橋爪 彰男	近藤 武	大平 肇子	出谷 元一	三井 清輝	山本 秀典
福田由美子	田中 好昭	伊藤 周治	宮崎つた子	黒川 和郎	清水 将之	小池 敦	大西 範和
玉田 章	村本 淳子	松並 治	齋藤 真	川口ちづほ	小松 美砂	犬飼さゆり	松井 美貴
田中 千裕	八木奈津実	村林 守	二村 良子	阿部 敬子	丹生 かづ		

団体・法人

伊勢赤十字病院	医療法人全心心会伊勢慶友病院	社会福祉法人恩賜財団済生会松阪総合病院	三重県立看護大学後援会
三重県厚生農業協同組合連合会三重北医療センター菰野厚生病院看護部	三重県立看護大学同窓会		
社会福祉法人恩賜財団済生会松阪総合病院看護部	地方独立行政法人三重県立総合医療センター	松阪市民病院	
社会医療法人峰和会鈴鹿回生病院	地方独立行政法人三重県立総合医療センター看護部		

お問い合わせ先 寄附に関すること：事務局企画総務課、給付金に関すること：事務局教務学生課

三重県立看護大学 第1回公開講座

健幸華齢な生き方・老い方 ～食・運動・内服薬に関する情報の重要性～

- 日時：6月30日（土）13：20～14：50（受付・開場：12：50～）
- 会場：三重県立看護大学講堂（津市夢が丘1丁目1番地）
- 講師：田中 喜代次（筑波大学名誉教授・教育学博士 日本健康支援学会理事長）

高齢期において、「健康な生き方」を実践するうえで大切なことは、低栄養防止策として食事をしっかりと摂り、運動を控えめに楽しむとともに、内服薬にも気を配ることがあげられます。

健康寿命の指標「活力年齢」の提唱者として知られる田中先生が、民間病院、大学附属病院等で心臓病、脳卒中、がん、透析の患者に向けた健康支援を行ってきた豊富な経験から、生き方・老い方の具体策について分かりやすく解説します。

お申込み：6月25日（月）17時までに、次のいずれかでお申し込みください。（定員になり次第終了）

- 電話：059-233-5610（平日9時～16時）
- FAX：059-233-5610
- E-Mail：event.rc@mcn.ac.jp



平成30年度出前講座の受付がはじまりました

教員がお伺いする「出前講座」メニューを今年度は43講座を用意しています。講座などの詳細は「講師派遣のご紹介パンフレット」（ホームページにも搭載）をご覧ください。講師料は無料です。お受けする時間の制限や、旅費のご負担などお願い事項などもございます。やむを得ずお断りする場合がありますのでご了解ください。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 地域交流センター TEL：059-233-5610 E-Mail：rc@mcn.ac.jp
ホームページ // 三重県立看護大学 > 地域交流センター > 出前講座

さらなる発展と人材育成の充実に向けて

～学生の修学支援のための基金への寄附の報告とお願い～

本学では開学20周年を契機に学生の修学支援に活用するための基金を創設し、昨年9月に同窓会や後援会等の皆さまに寄附を募ったところ、多くの皆さまからご厚志を賜っております。

◆平成30年5月末現在の状況

寄附総額 5,511,000円

寄附者数 個人 30人／法人等 11団体

この基金は、「みかん大進学支援給付金」(前頁参照)の財源となります。
継続的に安定した学生への支援を可能とするため、引き続き、皆様の格別の御協力と御支援をいただきますようお願い申し上げます。



お問い合わせ先 事務局企画総務課 TEL 059-233-5600



本学マスコットキャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大(みかんだい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



公立大学法人 三重県立看護大学

〒514-0116

三重県津市夢が丘1丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

<http://www.mcn.ac.jp/>



広告

「松阪中央総合病院」の看護に触れてみませんか? インターンシップ随時受付中

希望の日程をご連絡ください。※土日祝は除きます。

お気軽に
お問合せ下さい。

看護師寮
(ワンルームマンション)
完備!

看護師募集
新規・中途採用

三重県厚生連農業協同組合
松阪中央総合病院

担当: 看護部 濱口

松阪市川井町字小望102 URL: http://www.miekosei.or.jp/1_mch/
TEL: 0598-21-5252 E-mail: kango@mch.miekosei.or.jp

広告

地域のために
最善の医療への挑戦



H30年03月16日より5階建ての新棟がオープン

病院も新しくなり、働きやすい環境とやりがいのある好待遇で看護師を募集しています。お気軽にご連絡ください!!

TEL (059) 228-5181 看護部長 伊藤まで



津市西丸之内29番29号
(近鉄津新町駅より徒歩6分)